

こんな症状があったら甲状腺の病気も念頭に！

### 甲状腺機能亢進症

- 暑がりである
- 汗かきである
- 疲れやすい
- 動悸がする
- 食欲があるのに体重が減った
- 手足が震える
- 息切れがする
- 首の下の方が腫れてきた
- 目が出てきた
- まぶたが腫れぼったくなった
- 落ち着きがない

### 甲状腺機能低下症

- 寒がりである
- 皮膚がカサカサしてきた
- 便秘がちになった
- 体重が増えてむくむ
- 無気力で何をするのも億劫
- 髪や眉がうすくなった
- 食欲がない
- 首の下の方が腫れてきた



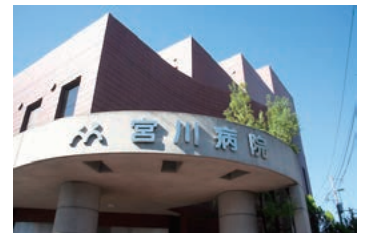
## 女性の活躍推進に必要な わたしの かかりつけ医

医療法人 誠医会 宮川病院  
内科部長・医学博士

### 宮川 めぐみ



＜宮川めぐみ＞プロフィール  
東京女子医大を卒業後東京女子医大内  
分泌内科に入局。平成16年から虎の  
門病院健康管理センター、その後同病  
院内分泌代謝科医長となり東京大学腎  
臓内分科非常勤講師兼務。平成  
30年から宮川病院内科部長として現  
在に至る。



医療法人 誠医会 宮川病院

http://www.miyagawa.or.jp/

TEL.044-222-3255

〒210-0802

川崎市川崎区大師駅前2-13-13

当院は、明治42年(1909年)に川崎市初の病  
院として創設され、「誠の医療に徹し、地域医  
療に貢献する」という理念のもと、地域に密着  
した病院として長年医療提供しています。

## 「甲状腺検査」を申し出てみましょう

健康診断には含まれない甲状腺の  
検査ですが、甲状腺自己抗体陽性の  
方が4人に1人いるといわれています。  
す。今回は内分泌科の専門医宮川め  
ぐみ先生に甲状腺疾患について詳し  
く伺いました。

### 甲状腺疾患は女性に多い

甲状腺って何するところ？  
と思う方が多いと思います。簡  
単に説明しますと、「全身の新陳  
代謝を促進するホルモンを出す  
ところ」です。したがって、甲状

腺に異常が起これると代謝がさが  
ったり、代謝が良くなりすぎたり  
します。

甲状腺の検査には、機能検査と  
自己抗体検査があります。一般  
的には機能の数値に異常がなけ  
れば問題ありません。機能が正  
常でも、自己抗体が陽性の方もい  
らっしゃいますが、それは体質  
的なもので、問題ないことが多  
いです。ただ陽性の方は甲状腺  
機能低下症(以下低下症)にはなり  
やすいので昆布などヨードの取り

### 発見しにくい疾患

過ぎには注意が必要です。ヨード  
は甲状腺ホルモンの主原料です  
ら過剰に摂取すると自分でホル  
モンが作れなくなり、機能が低下  
することがあります。甲状腺機能  
低下は、代謝が落ちることなので、  
肌がかさかさになり抜け毛も増  
え、なんとなく気力もなくなります。  
「年のせい」と思いがちな症状が多  
いですが、甲状腺が影響している  
こともあることを知っておくとい  
いですね。

次ページ表のような症状が気  
になる方は甲状腺の検査を一度受  
けてみてください。低下症の場合、  
自覚症状がほとんどない、もし  
は更年期や加齢に伴う不調に似  
ているため、年のせい、と思っ  
て気づかないことがあります。また、  
老人性うつや不安神経症、など  
他の病気と誤診されていることも  
よくあります。以前、うつ病で抗  
うつ剤を服用しながら一年以上入院

されていた患者さんがいらっし  
やいました。ある医師が甲状腺の腫  
れに気づき、診てもらえないかと  
依頼があり、甲状腺検査をしたと  
ころ、低下症であることがわかり  
ました。その方は甲状腺の治療を  
受け、元気に退院されました。

さらには、意識障害で救急搬送  
されてきた男性患者さんの異常な  
体のむくみに気づいた医師が、甲  
状腺の病気を疑い、私に紹介され  
甲状腺の治療をしたことで命が助  
かった、という患者さんいらっ  
しゃいました。粘液水腫性昏睡で  
した。代謝が大きく落ちると心臓  
も動いてくれないのです。全身に  
血液が回らなくなり、心臓に水が  
溜まり体中むくみますので、まず  
まず心臓が動かなくなり心不全と  
なり危険な状態になります。粘液  
水腫性昏睡は甲状腺機能低下症が  
基礎にあります。こういった場  
合でも甲状腺の原因だと気づか  
ない場合もあります。  
まぶたが重い、鼻がつまる、と

いう症状で耳鼻科を受診したと  
ころ、原因がわからず、薬を処方さ  
れ続けた方もいらっしやいま  
した。原因とは異なる薬を飲み続  
けたことで、むくみが起こり、不  
眠や食欲不振、イライラなどの精  
神症状もでてきました。これはお  
かしいということで、ようやく甲  
状腺が疑われ、私のところに紹介  
されてきました。甲状腺ホルモ  
ン剤を投与して甲状腺機能が正常  
に戻りました。不調の原因がわか  
らず、病院にいつても改善しない  
場合、一度甲状腺の検査を患者さん  
から申し出てみるのもいいかも  
しれません。

### 妊娠ともかわる疾患

最近では甲状腺疾患には妊娠に関  
連した多くの問題点があること  
もわかってきました。甲状腺機  
能が異常な場合、不妊・不育が多  
く、一般の方より15%も流産が多  
いとされています。甲状腺刺激ホ  
ルモンの少しの上昇でも妊婦さん

や妊娠を希望する若い女性では  
ホルモン補充が必要となります。  
出産後に自己免疫力が過剰に反  
応してバセドウ病が発病される  
場合もあります。また子どもの  
受験や家族の病気、親の介護など  
心身のストレスがたまった時な  
どにも発病しやすいと、いわれて  
います。バセドウ病の症状は、疲  
れやすい、動悸がする、汗をかき  
やすい、うつ気分、などで不定愁  
訴と類似します。女性は、女性ホ  
ルモンの変動による不定愁訴も  
多いのですが、甲状腺の影響に  
よる症状も不定愁訴に似ていま  
す。また、女性に甲状腺の病気が  
多いので、上記の表であてはまる  
ものが多い場合には、一度内分泌  
科で甲状腺の検査を受けてみて  
ください。内分泌科といっても  
糖尿病を専門にしているところ  
もありますので、専門の医師を探  
す場合には、日本甲状腺病理学会  
ホームページをご参照ください。  
(http://www.japantthyroid.jp/)